

お知らせ

記者発表資料 平成18年7月26日

提供先

島根県政記者会 松江市政記者クラブ
米子市政記者クラブ



第3回実行委員会を開催します。

平成18年8月7日～9日にかけて、松江市で「水環境フェア2006in松江」が開催されます。水環境フェアは、「うるおいのある美しい水環境の保全と創出の推進」をテーマとし、平成3年度から全国各地で開催されています。

開催に先立ち、今回、**第3回実行委員会**を次のとおり開催しますので、お知らせします。

1. 開催日時：平成18年7月28日（金） 13：30～14：30
2. 場 所：松江市役所 3階 第1常任委員会室（松江市末次町86番地）
3. 議 事：実施計画書（案）の説明及び質疑

（別添参考資料）

実施計画書（案）	資料1
チラシ	資料2
これまでの、水環境フェア	資料3

水環境フェア2006in松江実行委員会
（松江市・島根県・国土交通省）

問い合わせ先

水環境フェア2006in松江実行委員会 事務局
国土交通省 中国地方整備局 出雲河川事務所

TEL 0853-21-1850

FAX 0853-25-0819

副所長 つちえ 土江 せいじ 清司 （内線205）

調査設計課長 みずくさ 水草 こういち 浩一 （内線351）

「水環境フェア2006in松江」の詳細な内容は、出雲河川事務所のホームページ（<http://www.izumokasen-mlit.go.jp/index.html>）でごらんいただけます。



水環境フェア2006 in 松江

実施計画書（案）

平成18年7月28日

目次

開催目的とテーマ 1

開催概要 2

開催プログラム 3

開催目的と開催テーマ

開催目的

～「うるおいのある美しい水環境の保全と創出」の推進～

全国各地で展開されている地域の取り組みやその現状について、全国の関係者が一堂に集い、その活動状況の報告や情報交換を行う。

開催地をはじめとする行政機関や市民等における、水環境の保全と改善に対する意識の高揚を図る。

開催テーマ

水環境フェア2006in 松江のテーマ

私たちが創る 明日の水辺 美しいふるさと

～水の都 松江から～



水環境フェア2006in松江

開催テーマの趣旨

斐伊川は、古代から洪水による氾濫を繰り返し、そのさまはヤマタノオロチ伝説として広く知られています。一方、出雲国風土記には、斐伊川の豊富な漁業資源や物資の輸送としての舟運が記述されているように、古くから、流域は豊かな恵みを楽しみながら政治、経済、文化の中心として発展してきました。

とりわけ中海・宍道湖は、大橋川を挟んで形成された、世界でもまれな連結汽水湖で、塩分濃度の異なる各々の湖では、それぞれ汽水湖ならではの多様な生態系を育み、宍道湖七珍、中海十珍に代表される漁業資源の宝庫となるなど、流域に多くの恵みをもたらしてきました。また、水辺が織りなす四季折々の風景は、いやしの場としての多くの人々に愛されてきました。昨年11月には、世界的に重要な湿地としてその価値を認められ、両湖がラムサール条約へ登録されました。

一方、中海・宍道湖は閉鎖性の強い湖であることから、湖に流入した汚れは蓄積されやすく、現在でも水質は横ばいで、環境基準を達成できていない状況が続いており、水質改善には流域を挙げた取り組みが不可欠となっています。

地域によるヨシ植栽や清掃活動などの地道な取り組みが、中海・宍道湖のラムサール条約登録を経てさらなる盛り上がりを見せる中、流域全体が一丸となって、未来に誇れる水環境を創造し、次世代の子どもたちに引き継ぐ息の長い取り組みへとさらに発展させていくことが重要です。

今年は、中海・宍道湖を東西に抱え、斐伊川の恵みを多大に享受する松江市から、豊かなふるさとの水環境を守り伝えるために、上記テーマにより、斐伊川流域さらには全国に向けて情報発信します。

開催概要

名 称：水環境フェア2006in松江

テーマ：私たちが創る 明日の水辺 美しいふるさと
～水の都 松江から～

日 時：平成18年8月7日（月）～8月9日（水）

会 場：くにびきメッセ（島根県立産業交流会館）

主 催：水環境フェア2006in松江 実行委員会
（松江市、島根県、国土交通省：実行委員長は松浦松江市長）

後援：朝日新聞松江総局、山陰中央新報社、産経新聞松江支局、
島根日日新聞社、新日本海新聞社、中国新聞社、
日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、
共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、
山陰中央テレビ、中海テレビ放送、日本海テレビ、BSS山陰放送、
エフエム山陰、出雲ケーブルビジョン、雲南夢ネット、
山陰ケーブルビジョン、ひらたCATV、松江情報センター、
島根県教育委員会

協賛：斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会、(財)河川環境管理財団、
(財)リバーフロント整備センター、(社)中国建設弘済会、
宍道湖漁業協同組合、中海漁業協同組合、
(財)ホシザキグリーン財団、島根県立宍道湖自然館ゴビウス
米子水鳥公園、島根経済同友会、松江商工会議所、
国際ソロプチミスト松江、松江南ロータリークラブ、
松江東ロータリークラブ、松江しんじ湖ロータリークラブ、
松江ライオンズクラブ、松江湖城ライオンズクラブ



開催プログラム

ポスター展 パネル展 8月7日(月) 8日(火) くにびきメッセ

9:30
~
17:00

内容 / ポスター展 : 斐伊川流域の子供達が作成したポスターの展示
パネル展 : 全国の市民団体や行政などの水環境保全活動を紹介するパネルの展示

流域活動報告会 8月7日(月) くにびきメッセ

14:00
~
17:00

内容 / 斐伊川流域と全国の市民団体等の交流
斐伊川流域の小中学生の交流

分科会 8月8日(火) くにびきメッセ

10:00
~
12:00

内容 / 分科会A: 全国の市民団体 (ラムサール条約登録と私たちの役割)
分科会B: 全国の小・中学生 (私たちが創る明日の水環境)
分科会C: 産官民 (水質改善とまちづくり)
分科会D: 全国一斉水質調査 (調べてつなぐみんなの水辺)

シンポジウム 8月8日(火) くにびきメッセ

12:00

オープニングアトラクション

響(どう)行列の披露

12:50

開場

13:00

開会

主催者挨拶

ポスター展表彰

13:40

記念講演

福島敦子氏 (キャスター、エッセイスト)

14:40

分科会レポート

午前中の分科会A, B, C, Dの報告

15:05

休憩

15:15

パネルディスカッション

テーマ: 私たちが創る 明日の水辺 美しいふるさと
パネリスト: 市民団体、学識者、教育関係者、行政

16:45

閉会式
引継ぎセレモニー
エンディングアトラクション

松江宣言
次回の開催、四万十市へ
だんだんの歌

17:00

閉会

体験イベント 8月8日(火) 9日(水) 宍道湖湖畔等

8日(火) 13:30 ~ 9日(水) 12:00

注) プログラムは現在の案であり、催事内容や時間配分は変更することがある。

「水環境フェア2006 in 松江」第2回実行委員会・第3回幹事会



水環境フェア2006 in 松江

私たちが創る 明日の水辺 美しいふるさと
水の都 松江から



2006

8/7月 8火 9水

会場

くにびきメッセ (島根県立産業交流会館)

【主催】 水環境フェア2006 in 松江実行委員会 (松江市、島根県、国土交通省)

【後援】 朝日新聞松江総局、山陰中央新報社、産経新聞松江支局、島根日日新聞社、新日本海新聞社、中国新聞社、日本経済新聞社松江支局、毎日新聞松江支局、読売新聞松江支局、共同通信社松江支局、時事通信社松江支局、NHK松江放送局、山陰中央テレビ、中海テレビ放送、日本海テレビ、BSS山陰放送、エフエム山陰、出雲ケーブルビジョン、雲南夢ネット、山陰ケーブルビジョン、ひらたCATV、松江情報センター、島根県教育委員会 【順不同】

【協賛】 斐伊川水系水質汚濁防止連絡協議会、(財)河川環境管理財団、(財)リバーフロント整備センター、(社)中国建設弘済会、宍道湖漁業協同組合、中海漁業協同組合、(財)ホシザキグリーン財団、島根県立宍道湖自然館ゴビウス、米子水鳥公園、島根経済同友会、松江商工会議所、国際ソロボチミスト松江、松江南ロータリークラブ、松江東ロータリークラブ、松江しんじ湖ロータリークラブ、松江ライオンズクラブ、松江湖城ライオンズクラブ 【順不同】

開催趣旨

斐伊川流域の中海・宍道湖は大橋川を挟んだ世界でもまれな連結汽水湖で、昔より私たちに多くの恵みをもたらしてきました。水環境フェアは、全国各地で展開されている地域の取り組みやその現状について、全国の関係者が両湖を抱える松江市に一堂に集い、その活動状況の報告や情報交換を行い水環境の保全と改善に対する意識の高揚を図ることを目的としています。

ポスター展・パネル展

8月7日(月)～8月8日(火)

9:30～17:30

ポスター展

斐伊川流域の小学生が「私たちが創る 明日の水辺 美しいふるさと」をテーマに描いたポスターをくまびきメッセに展示し、そのなかから、1作品を実行委員長(松江市長)賞、10作品を優秀賞として当日、主会場にて表彰いたします。

パネル展

水環境の保全などに関する全国の市民団体や行政などが取り組んでいる活動を紹介するパネルを展示します。

流域活動報告会

8月7日(月)

14:00～17:00

流域活動報告会

水環境の保全と改善に取り組んでいる全国の市民団体や学校等と斐伊川流域の市民団体や学校がお互いに活動報告をして情報交換と交流を行います。

分科会

8月8日(火)

10:00～12:00

分科会A テーマ:ラムサール条約登録と私たちの役割

中海・宍道湖は、平成17年11月に新たにラムサール条約に登録されました。これまでも多くの市民団体が、地域の水環境の保全、改善、再生に取り組んでいますが、登録を契機にさらにその機運が高まっています。そこでラムサール条約登録と水環境及び湿地保全と賢明な利用のあり方について考えるために、全国のラムサール条約登録湿地の市民団体が、その活動を話し合います。

分科会B テーマ:私たちが創る明日の環境

次代を担う子どもたちには、水環境に関する正しい理解と行動が期待されるとともに、明日の水環境は子どもたちが創っていくという未来があります。水環境改善のためには、未来に向かって何をしなければならぬのかを、実際の川などをフィールドとして得た活動から、全国の小中学生が話し合います。

分科会C テーマ:水質改善とまちづくり

松江市内を流れる「松江堀川」は、松江城の築城の際に開削された人口の堀で、「水の都 松江」のシンボルとなっています。しかし昭和30年代頃より家庭排水等の都市排水が増加し、水質は急速に悪化したことから、昭和51年度から宍道湖の水を導水する浄化事業に取り組み、水質改善を図ってきました。環境の整備に伴い、市民の水環境への関心が高まり、その後の「まちづくり」に活かされています。そこでこのような水質改善の取り組みが「まちづくり」にどのようなインパクトを与えたかについて、全国の産官民の代表者が活動事例を紹介しながら話し合います。

分科会D テーマ:調べてつなく みんなの水辺

世界環境デーである6月6日を中心に、全国各地の身近な水辺で活動する市民団体の協力により、全国一斉に同じ手法での水質調査を行うもので、今年で3回目となります。この調査を行った主な全国の市民団体が集まり、調査結果や日頃の活動状況など各地の取り組みについて話し合います。

体験イベント

8月8日(火)～8月9日(水) 宍道湖湖畔等

※体験イベントにつきましては、すでに参加者が決定しておりますことご了承下さい。

開催テーマ

わたしたちが創る 明日の水辺 美しいふるさと ～水の都 松江から～

斐伊川は、古代から洪水による氾濫を繰り返し、そのさまはヤマタノオロチ伝説として広く知られています。一方、出雲国風土記には、斐伊川の豊富な漁業資源や物資の輸送としての舟運が記述されているように、古くから、流域は豊かな恵みを楽しみながら政治、経済、文化の中心として発展してきました。とりわけ中海・宍道湖は、大橋川を挟んで形成された、世界でもまれな連結汽水湖で、塩分濃度の異なる各々の湖では、それぞれ汽水湖ならではの多様な生態系を育み、宍道湖七珍、中海十珍に代表される漁業資源の宝庫となるなど、流域に多くの恵みをもたらしてきました。また、水辺が織りなす四季折々の風景は、いやしの場としての多くの人々に愛されてきました。昨年11月には、世界的に重要な湿地としてその価値を認められ、両湖がラムサール条約へ登録されました。一方、中海・宍道湖は閉鎖性の強い湖であることから、湖に流入した汚れは蓄積されやすく、現在でも水質は横ばいで、環境基準を達成できていない状況が続いており、水質改善には流域を挙げた取り組みが不可欠となっています。地域によるヨシ植栽や清掃活動などの地道な取り組みが、中海・宍道湖のラムサール条約登録を経てさらなる盛り上がりを見せる中、流域全体が一丸となって、未来に訪れる水環境を創造し、次世代の子どもたちに引き継ぐ息の長い取り組みへとさらに発展させていくことが重要です。今年、中海・宍道湖を東西に抱え、斐伊川の恵みを多大に享受する松江市から、豊かなふるさとの水環境を守り伝えるために、上記をテーマに、斐伊川流域さらには全国に向けて情報発信します。

シンポジウム

8月8日(火)

12:00

オープニングアトラクション・開場 松江市の琴行列の披露・体験
琴行列に用いられる琴(大型の太鼓)の演奏と試打体験を実施します。

13:00

開会 主催者挨拶、ポスター展表彰

13:40

記念講演 福島 敦子氏(キャスター、エッセイスト)

「私の取材手帳から ～環境の世紀のライフスタイルを考える～」
今回のテーマ「私たちが創る 明日の水辺 美しいふるさと～水の都 松江から～」にあわせ、多くの取材から水環境にまつわる事柄や故郷松江への想いを語っていただきます。

14:40

分科会リポート 午前中の分科会A,B,C,Dの報告
分科会で討議された成果をコーディネーターが報告します。

15:05

休憩

15:15

パネルディスカッション

「私たちが創る 明日の水辺 美しいふるさと」をテーマに、様々な視点から水環境の保全や改善について討論します。

1. 皆でつくる水環境の明日の姿

2. 連携で取り組む水環境の保全

3. 市民レベルでできること

●コーディネーター

山陰中央新報社論説委員 藤原秀晶

●パネリスト

島根大学副学長 高安 克巳

NPO法人斐伊川流域環境ネットワーク理事長 小谷 武

彦名地区環境をよくする会会長 向井 哲朗

松江市立本庄小学校校長 竹田 喜久江

松江市長 松浦 正敬

●コメントーター

国土交通省 河川局 河川環境課長 久保田 勝

16:45

閉会式 松江宣言(松江市立本庄小学校代表)

引継ぎセレモニー 次回開催都市(四万十市)へ
松江市立本庄小学校の代表者が宣言します。次回の開催都市の代表者により挨拶があり、エンディングには「だんだんの歌」¹⁾で締めくくります。

エンディングアトラクション だんだんの歌/島根大学教育学部附属中学校コーラス部

¹⁾H15.6.1NHK衛生第二テレビで放映された「おーい、ニッポン今日はとことん島根県」でロッカ(土江六子さん、下間昌子さんの二人組)が演奏した島根県民の歌。作曲作曲秋元康氏、作曲後藤次利氏で、全国の県民の歌でも特に名曲と言われています。

17:00

閉会

※開催内容は変更になる場合がございます。ご了承下さい。

琴(どう)行列

松江の秋を彩る勇壮な伝統行事。松江の琴行列の歴史は、平安時代京都で行われていた「左義長」(さきちよう)という正月行事が伝わり、出雲(松江)地方で正月の歳神行事「とんど行事」として行われたことまでさかのぼります。福尾氏により開列した際に正月・歳神様を祭る「とんど行事」に合わせて「どう」と呼ぶ太鼓を打ち鳴らし、音・チャンガで囃したのが始まりの一つと語られています。



記念講演
福島 敦子氏(キャスター、エッセイスト)

津田塾大学文学部卒。中部日本放送を経て、1988年、独立。NHK、TBS、テレビ東京などで報道番組を担当。近年は、テレビ東京での経済トークドキュメント「ビジネス捕鯨」のキャスターや、週刊誌「サンデー毎日」における250人及び企業トップとの対談など、数多くの企業、経営者への取材を精力的に行っている。現在、テレビ東京の経済番組「ミームの冒険」～日本経済のDNAを探る～のキャスターを担当中。経済の他、コミュニケーション、環境、地域再生、農業など現代社会の問題をテーマにした講演やフォーラムでも活躍。また島根大学の経営協議委員も務める。1997年には(社)日本ソムリエ協会認定ワインアドバイザーの資格を取得。ワインや食の魅力を伝える活動にも取り組んでいる。著書に「それでもあきらめない経歴」「ききわけの悪い経営者が成功する」「就職・無職・転職」「これが美味しい!世界のワイン」「美味の誘惑」などがある。



コーディネーター
藤原秀晶

山陰中央新報社出版部長・論説委員。
松江市出身。
1974年4月、山陰中央新報社入社。
編集局総務部を担い出し、同報記者、運動部記者などを経る。松江本社報道部デスク、米子担当編集部長、松江局長などを経て2002年3月、論説委員。2005年8月から現職。



パネリスト
高安 克巳

島根大学副学長。
1977年京都大学大学院理学研究科博士課程修了。
中海・宍道湖の汽水湖の形成過程など環境地学が専門で、我が国唯一の汽水湖研究機関である島根大学汽水湖環境センター長を2009年4月から現在まで務める。現在は、島根大学の理事として学術振興担当の副学長と附属図書館館長を務める。



パネリスト
小谷 武

NPO法人、斐伊川流域環境ネットワーク理事長。宇田市出身。
1999年理事に就任。豊かな自然環境をめぐり、宍道湖ヨシ再生、葉の花開プロジェクトやどんぐりのつくり事業など斐伊川流域全体での環境保全活動に子供を中心に積極的に関わり、2005年「日本水大賞」奨励賞、「第3回花・人・みどりの水産地域活性化大賞」金賞を受賞。本年4月には全国「みどりの祭典」国土交通大臣賞を受賞。松江市総合推進委員会委員。



パネリスト
向井 哲朗

彦名地区環境をよくする会会長。
米子市出身。会社員。
環境問題(中流)の発行責任者。
1991年彦名地区子ども会(トロール隊)を立ち上げ「泳げる中海を取り戻す」を活動テーマに、環境保全活動の推進に積極的に関わり、2000年6月松江市長に就任。2005年合併により誕生した新松江市長に就任。



パネリスト
竹田 喜久江

松江市立本庄小学校校長。
松江市市中。
松江校、新市立田井小学校で、地域の「人・もの・こと」を活用した「あそびと教育」(調の重点事業)に力を入れてきた。地域の豊かな自然から、特に学校の近くを流れる斐伊川の宍道湖河口川川を軸とした教育活動を開始した。地域の優れた人材を活用するなどして、地域の活性化にもつなげ、ふるさとに愛着をもつ育成に努めた。



パネリスト
松浦 正敬

松江市長。
松江市出身。東京大学法学部卒業後、1971年島根県庁入庁。
自治体行政執行課長、大臣官庁議員などを経て、2000年6月松江市長に就任。2005年合併により誕生した新松江市長に就任。



コメントーター
久保田 勝

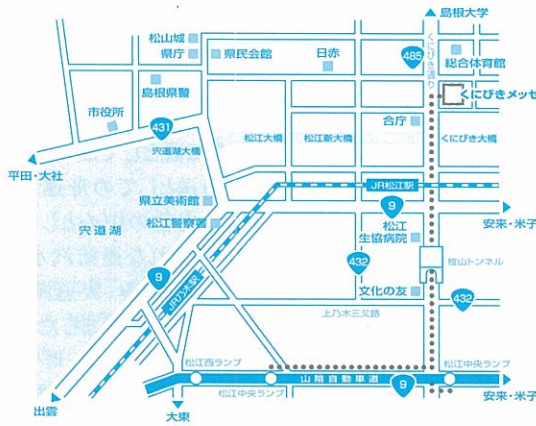
国土交通省河川局河川環境課長。
大府生まれ。1978年建設省(現国土交通省)入省。
国策財団建設局河川工事事務所長、水資源開発公団企画部計画課長、河川局河川環境課河川室長、北陸地方整備局富山工事事務所長、内河地方整備局建設部長等を歴任し、2005年8月より現職。

アクセスマップ

JR松江駅より徒歩7分
 山陰道「松江中央ランプ」より車で10分
 JR松江駅よりバスで3分「松江駅・メッセ方面」行き
 「くにびきメッセ前」下車

財団法人 くにびきメッセ

〒690-0826 島根県松江市学園南一丁目2番1号
 ☎0852-24-1111
 ☎0852-22-9219



お問合せ

水環境フェア2006 in 松江実行委員会事務局(出雲河川事務所内) 〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1

☎0853-21-1850 ☎0853-21-2878 ✉izumo@cgr.mlit.go.jp

ホームページアドレス http://www.izumokasen-mlit.go.jp/mizukankyo_06/

応募締切 平成18年7月25日(火) 必着

キ リ ト リ 線

FAX送信状兼送付状

入場無料

皆様のお申込みをお待ちしております。

水環境フェア2006 in 松江実行委員会事務局宛
 〒693-0023 出雲市塩冶有原町5-1

※申込書にご記入の上、事務局宛にFAXまたは郵送願います。※参加申し込みと引き換えに入場整理券を郵送します。(入場無料ですが座席数に制限がありますので入場整理券を発行するものです。なお、整理券をお持ちにならないと、満員の場合は入場をお断りする場合があります。)

FAX (0853)21-2878

シンポジウム聴講申込書

シンポジウムに代表者含め()人参加

ふりがな

お名前
(代表者)

ご住所

□□□-□□□□

県

市/郡

町

※勤務先の場合は、企業名(団体名)もお書きください。

電話番号

FAX番号

午前中に行われる分科会は、入場整理券がなくても聴講できますので是非ご来場ください。

(会場設営等の都合がありますので、ご希望の分科会に下記チェックをお願いします。)

- 分科会A:ラムサール条約登録と私たちの役割(全国の市民団体)
- 分科会B:私たちが創る明日の水環境(全国の小・中学生)
- 分科会C:水質改善とまちづくり(産官民)
- 分科会D:調べてつなぐみんなの水辺(全国一斉水質調査)

(注)住所等は、連絡と整理券の発送のみに利用します。

これまでの水環境フェアについて

資料3 - 1

「水環境の保全と再生」に向けた市民の意識高揚と連携を図る場として、平成3年より水環境フェアが開催され、第16回目になる平成18年は島根県松江市で開催されます。(下表参照)

この水環境フェアは、国・県・市が協力し合って実行委員会を組織し、運営する形式で行ってきています。

これまでの水環境フェア

	開催日	担当地	開催場所	主 な 内 容	備 考
1	H 3.8.2	関東	東京都	全国報告、記念講演 (F・モレシャン) 他	
2	H 4.8.5	近畿	大阪府大阪市	" 、 " (露の五郎) 他	
3	H 5.8.6	東北	宮城県石巻市	" 、 " (嵐山光三郎) 他	
4	H 6.8.4	九州	熊本県玉名市	" 、 " (光岡明) 他	
5	H 7.8.3	北陸	富山県富山市	" 、 " (見城美枝子) 他	
6	H 8.8.6	中国	岡山県岡山市	" 、 " (北野大) 他	
7	H 9.8.8	中部	愛知県名古屋市	" 、 記念トーク (柳生博、宮崎淑子、小寺重孝) 他	
8	H10.8.7	四国	愛媛県松山市	" 、 " (吉村作治) 他	
9	H11.8.2	北海道	北海道札幌市	全国レポート 、 記念講演 (みなみらんぼう) 他	
10	H12.8.2	関東	埼玉県大宮市	" 、 記念トーク&ライブ (タカユキヒデ、遠藤久美子) 他	
11	H13.8.2	近畿	兵庫県神戸市	" 、 記念対談 (畑正憲) 他	
12	H14.8.1	東北	宮城県仙台市	" 、 記念講演&ミニライブ (さとう宗幸) 他	
13	H15.8.2	九州	宮崎県宮崎市	" 、 記念講演 (赤星たみこ) 他	
14	H16.8.7	北陸	新潟県新潟市	" 、 記念講演 (大山のぶ代) 他	
15	H17.8.4	中部	岐阜県岐阜市	" 、 記念講演 (高木美保) 他	資料 3-2
16	H18.8.8	中国	島根県松江市	" 、 記念講演 (福島敦子) 他	今回実施予定

イベントスケジュール

まもろう 育てよう わたしたちの川 ～清流長良川のまち 岐阜から～

8/3(水) 4(木)

ポスター展

会場/長良川国際会議場 1F 市民ギャラリー

■岐阜県内の小中学生より募集したポスター作品
(四つ切サイズ) 36枚/741点を展出しました。



7/30(土) ⇒ 8/4(木)

プレポスター展

会場/JR岐阜駅 アクティブG 2F:G ストリート

■岐阜県内の小中学生より募集したポスター作品
(四つ切サイズ)のうち、入選作品21点(最優秀賞1点・優秀賞(小学生の部-10点、中学生の部-10点)のカラーコピーを展出しました。



川のメッセージパネル展

会場/長良川国際会議場 2F 第5会議室

■全国の市民団体からのメッセージパネル
(A1サイズ) 69枚を展出しました。
[参加34団体]



8/5(金)

岐阜見学会・交流会

会場/長良川 千鳥橋～長良橋

フェア参加の小中学生と岐阜市内の小中学生たち
約50名が参加し、長良川ボート下りをしながら、
清流・長良川とふれあいました。



水環境パネル展・水環境ビデオ放映

会場/長良川国際会議場 1F ホワイエ

■水環境パネル展/清流・長良川の紹介パネル(A1サイズ) 22枚を展出しました。
■水環境ビデオ放映/水環境保全・改善についての啓発ビデオを連続放映しました。

「愛・地球博」「世界ボート選手権」パネル展

会場/長良川国際会議場 2F ロビー

■開催中の「愛・地球博」と、8月30日から9月4日まで開催される「世界ボート選手権大会」をパネルで紹介しました。

8/4(木)

水環境・テーマセッション

会場/長良川国際会議場 4F-5F会議室

- [分科会A] 全国の市民団体
「わたしたちの川からのメッセージ」
- [分科会B] 全国の小中学生
「わたしたちの川が教えてくれたこと」
- [分科会C] 全国の市町村長
「わたしたちの川と豊かなまち」
- [分科会D] 全国一斉水質調査
「調べてつなぐ みんなの水辺」
～第2回身近な水環境の全国一斉調査について～



水環境シンポジウムin岐阜

会場/長良川国際会議場 メインホール さらさ～ら

- オープニングアトラクション
- ポスター展表彰式
- 基調講演
- 分科会リポート
- パネルディスカッション
- 岐阜からのメッセージ(岐阜宣言)
- 引継ぎセレモニー



水環境フェア2005in岐阜 MAP

